

2025.4.20 清水地区 清水支所 1 階和室

議会出席:議長、児玉、大野

来店者:4名

おしゃべりカフェ 意見

【スマート IC 周辺土地利用計画】

- ・道の駅がリニューアルされるが、何も変わらないのではないのか。
- ・スマート IC 玄関口があ程度の道の駅では機能しないのではないのか。
- ・とにかく大きな駐車場が必要。スマートIC周辺の具体的なプランの説明を。
- ・清水橋の 2 車線化など交通渋滞対策を早急に。開通したら大変なことになる。
- ・スマートIC開通を見据えた「観光マスタープラン」作成に 650 万円。誰が、いつから、どのようなプランを作成しようとしているのか。清水地区では「清水あり方研究会」で既に具体的なプランを提案しているが音沙汰がない。
- ・小中学校の跡地利用は高齢者から子どもたちまで、地域住民が集える多目的施設を基本として、都心から元教室などを使った企業誘致を進めてはどうか。

【鳥獣被害】

- ・喜一郎新田のシカ被害、範囲を決めてしっかり対策を。
- ・サル被害も深刻。調査だけではなく追い払い対策を。役場職員はもっと農家に直接ヒアリングをし、農家のことを真剣に考えてほしい。

【子育て支援】

- ・清水地区も子どもが少ない。令和 7 年度は子育て支援施策が注目を集めるが、インパクトが全くない。他の町でも同じことをやっている。山北町ならではの特色を。
- ・仕事の都合上、向原保育園に通わせているが、送迎時の駐車場が少ない。隣接地は空地のようだが、町が駐車場として借用できないのか。

【その他】

- ・足柄茶 100 周年記念事業に予算が付いたが、20 万程度で何ができるのか。山北発祥の足柄茶を町はもっと積極的に PR していくべき。
- ・町はすぐに「お金がないから何もできない」と言う。もっと町民に希望が持てる夢のある事業や前向きなプランを示してほしい。
- ・仮設の道の駅は、車両が入りにくいためお客様が少ない。当然商品も売れない。
- ・川崎市・横浜市などと水源交流を理由に、森林環境譲与税を使った仕掛けができないか。品川区と連携している「ひだまりの里」のような施設や農地借用など。
- ・石破総理が進める地方創生交付金の獲得に向けて県国にしっかりアピールを。

以上